



マスコットキャラクター
EMMA(エマ)ちゃん

2020年3月期 上期 決算説明資料



株式会社 EMシステムズ

EM SYSTEMS CO ., LTD.

(東証一部:4820)

2019年 豪雨被害に遭われた皆様へ

2019年 台風等の豪雨被害に遭われた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

被災された皆様が、一日も早く平穏な毎日を取り戻されますことをお祈り申し上げます。

I. 『事業の状況と今後の事業計画』

- i. 事業環境
- ii. 下期施策

II. 『2020年3月期 上期 決算概況』

- i. 決算ハイライト
- ii. 連結業績推移／会計年度別
- iii. 貸借対照表サマリー
- iv. セグメント別 売上高／営業利益
- v. セグメント別 売上高内訳
- vi. 調剤システム事業（四半期別/Moving Annual Total）
- vii. 医科システム事業（四半期別/Moving Annual Total）
- viii. 今後の見通し（連結業績）
- ix. 当社シェアならびにお客様数
- x. 株主還元

添付資料

共通情報システム基盤

市場環境

調剤市場

- 2018年4月 診療報酬・介護報酬 同時改定の影響から、大手薬局チェーンの薬局事業は、急速に回復
- 薬局事業環境の変化により、大手薬局チェーンが相次ぎ持株会社体制へ移行、各社M & A等の組織再編成を急ぐ
- 薬品卸各社との新しい薬価に対応した仕切り価格交渉で、薬局経営がより厳しく（流通改善がトライン）
- 薬剤師以外のピッキングや一包化「薬剤師の指示に基づく」実施が可能
（厚生労働省医薬・生活衛生局総務課は2019年4月2日付で、都道府県宛に通知）

医科市場

- 政府は、オンライン診療の普及拡大を目指す取組を発信するも伸び悩み
⇒オンライン診療……規制改革会議が診療報酬の値上げを提言
- 診療所における電子カルテ普及率 4割超

介護/福祉市場

- 病院の入院ベッド数の削減と、高齢化に伴い、新規施設の増加による成長市場
- 大規模チェーン介護施設の増加
- 高齢者と障害児者が同一の事業所でサービスを受けやすくするため共生型サービスが新設

主な取り組み

【販売戦略】

- 新製品（MAPsシリーズ）による新規顧客・他社リプレイスの促進
- EMソリューション、エムウィンソフトの資産を活かした介護/福祉市場への積極的営業展開
- グローリー(株)と共同開発した処方箋入力支援システムをリリース
- システム販売のECサイト開設による、販路の拡大
- 拠点営業のリソースを医科・介護/福祉市場へシフト
- アズワン社との業務提携による消耗品ラインナップの充実、消耗品販売の促進

【開発活動】

- 介護/福祉事業 MAPs for NURSING CAREの開発着手及び製品競争力の強化
- 共通エンジンのOEM提供による業界の標準化及びコストダウンの貢献

【マーケティング】

- ブランディングへの積極的な投資
- 広告宣伝活動の積極的展開



Ⅱ. i. 決算ハイライト

2020年3月期 上期 連結業績

	2019年3月期 上期	2020年3月期 上期 (計画) ※	2020年3月期 上期 (実績)	前年比	計画比
売上高	6,594 百万円	6,516 百万円	7,086 百万円	7.5%	8.8%
営業利益	1,468 百万円	710 百万円	964 百万円	△34.3%	35.6%
経常利益	1,787 百万円	1,010 百万円	1,283 百万円	△28.2%	27.0%
当期純利益	1,197 百万円	679 百万円	862 百万円	△28.0%	26.9%

※2019年5月8日に公表いたしました決算短信の連結業績予想の通期数値

2020年3月期 上期 トピックス

- 消費税増税やWindows 7のサポート終了によるハードリプレイスの駆け込み需要による売上高の増加
- HW提供方法変更による初期費用の減少及び大手チェーン店獲得によるのReceipty NEXTの販売件数の大幅な増加（対前年同期比 47.4%増加 304件→448件）
- ストック売上の順調な増加（調剤・医科セグメント）
- 5月からグローリー株式会社との協業で、処方箋情報の入力作業を自動化するシステムの開発を開始
- 九州北部地区を中心に、クリニック、薬局向けビジネスを展開している株式会社ポップ・クリエイションの株式を7月1日に取得（完全子会社化）。

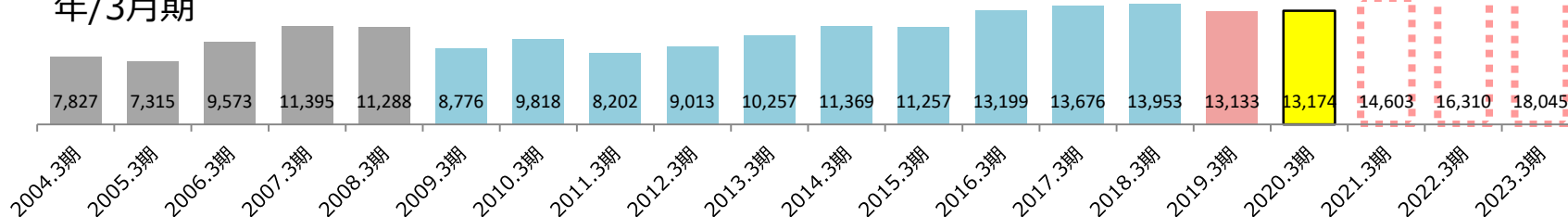
II. ii. 連結業績推移／会計年度別(単位:百万円)



2020.3以降は計画値

売上高

(百万円)
年/3月期

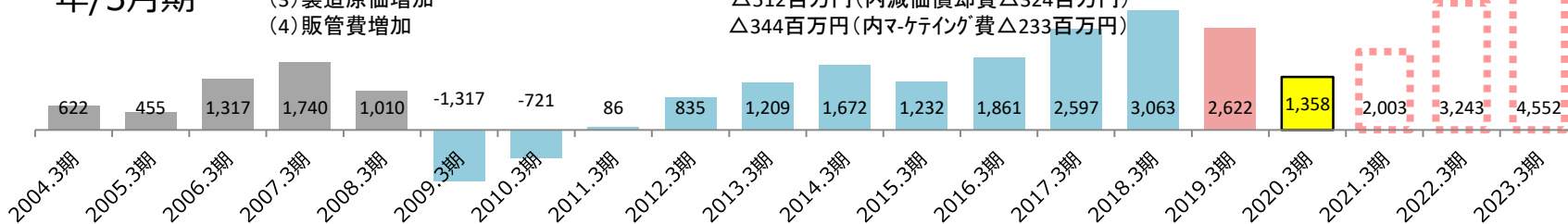


営業利益

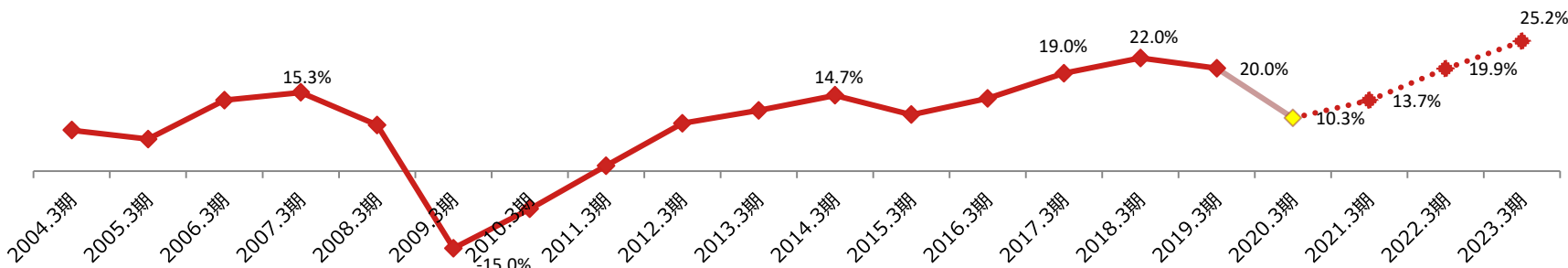
(百万円)
年/3月期

営業利益2019.3期(通期)と2020.3期(通期)減少の主な要因

- (1) ハードウェアの提供方法変更 粗利率減少 Δ 198百万円
- (2) " " 販売単価減少 Δ 176百万円
- (3) 製造原価増加 Δ 512百万円(内減価償却費 Δ 324百万円)
- (4) 販管費増加 Δ 344百万円(内マーケティング費 Δ 233百万円)



営業利益率



Ⅱ. iii. 貸借対照表サマリー(単位:百万円)

	2019年3月期	2019年3月期 上期末	増減額	増減比
資産の部	22,351	23,169	818	3.7%
流動資産	10,930	11,608	678	6.2%
固定資産	11,421	11,561	140	1.2%
有形固定資産	1,676	1,682	6	0.4%
無形固定資産	1,930	2,208	278	14.4%
投資その他の資産	7,814	7,670	△144	△1.8%
負債の部	5,733	6,017	284	5.0%
流動負債	3,665	4,084	419	11.4%
固定負債	2,067	1,933	△134	△6.5%
純資産の部	16,618	17,152	533	3.2%
株主資本	16,536	17,078	542	3.3%
その他の包括利益				
累計額合計	△46	△39	7	△16.2%
新株予約権	128	112	△16	△12.8%

主な増減額

現金及び預金	672 百万円
--------	---------

ソフトウェア仮勘定	391 百万円
-----------	---------

のれん	△ 75 百万円
-----	----------

ソフトウェア	△ 37 百万円
--------	----------

前受収益	395 百万円
------	---------

未払消費税	71 百万円
-------	--------

未払法人税等	△ 65 百万円
--------	----------

Ⅱ. iv. セグメント別 売上高／営業利益

(百万円)

	2019年3月期 上期		2020年3月期 上期					
	売上高	営業利益	売上高			営業利益		
			実績	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
調剤システム事業	5,263	1,365	5,484	220	4.2%	960	△404	△29.6%
医科システム事業	871	122	924	52	6.1%	94	△27	△22.2%
その他の事業	513	△ 17	729	216	42.2%	△ 139	△122	-

※セグメント別の売上高及び営業利益又は営業損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

- ✓調剤システム事業・・・ハードウェア提供方法の変更にともなう粗利の減少による減益。
- ✓医科システム事業・・・MRNのお客様数が着実に増加。それに伴う課金売上げも順調に増加。
- ✓その他の事業・・・・・・響・シンフォニーの初期売上を、フロー型からストック型へ変更による減益。

Ⅱ. v. セグメント別 売上高内訳

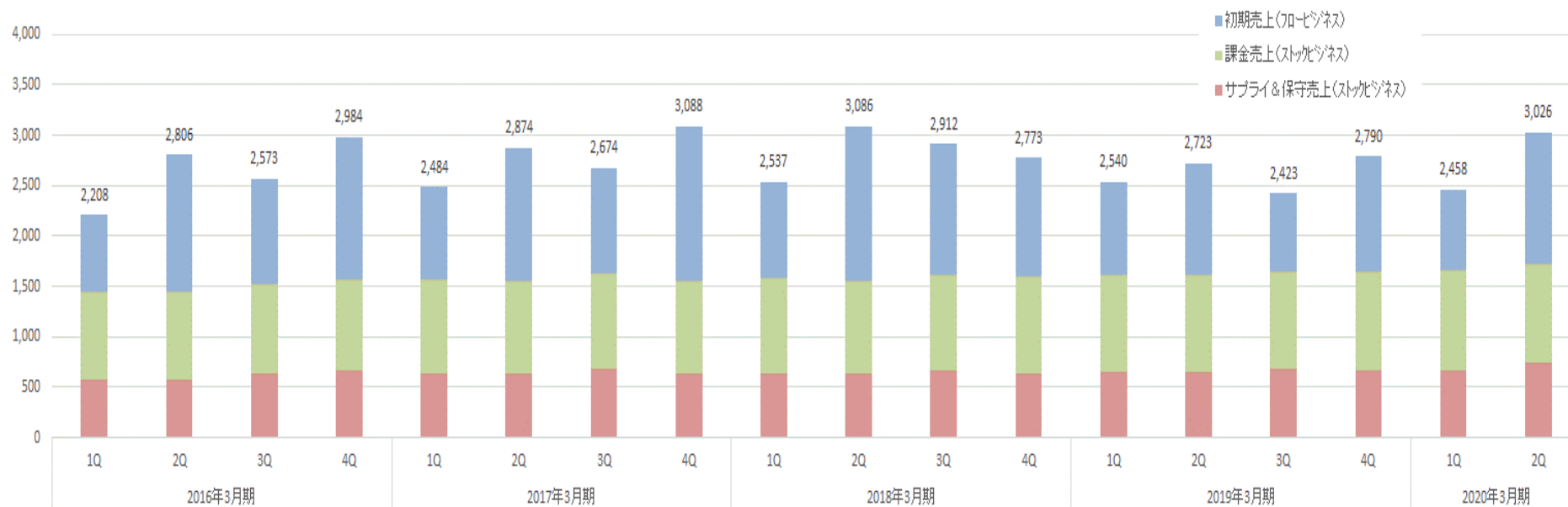
(百万円)

	2019年3月期 上期	2020年3月期 上期	増減額 (前期比)	増減率 (前期比)
売上高	6,594	7,086	492	7.5%増
調剤システム事業	5,263	5,484	220	4.2%増
(内 初期売上)	2,020	2,104	84	4.2%増
(内 課金売上)	1,932	1,970	37	1.9%増
(内 サプライ売上)	1,020	1,076	56	5.5%増
(内 保守売上)	289	332	43	14.9%増
医科システム事業	871	924	52	6.1%増
(内 初期売上)	430	458	27	6.4%増
(内 課金売上)	232	270	37	16.3%増
(内 サプライ売上)	46	49	2	6.0%増
(内 保守売上)	161	145	△15	9.7%減
その他の事業	513	729	216	42.2%増
介護システム事業	19	222	202	1030.3%増
(内 初期売上)	5	33	28	492.2%増
(内 課金売上)	12	25	12	103.6%増
(内 サプライ売上)	0	0	0	313.1%増
(内 保守売上)	1	162	161	11644.6%増
その他の事業	493	507	13	2.8%増
調整額	△53	△51	2	4.9%減

※セグメント別の売上高は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

Ⅱ. vi. 調剤システム事業

四半期別売上推移（単位：百万円）

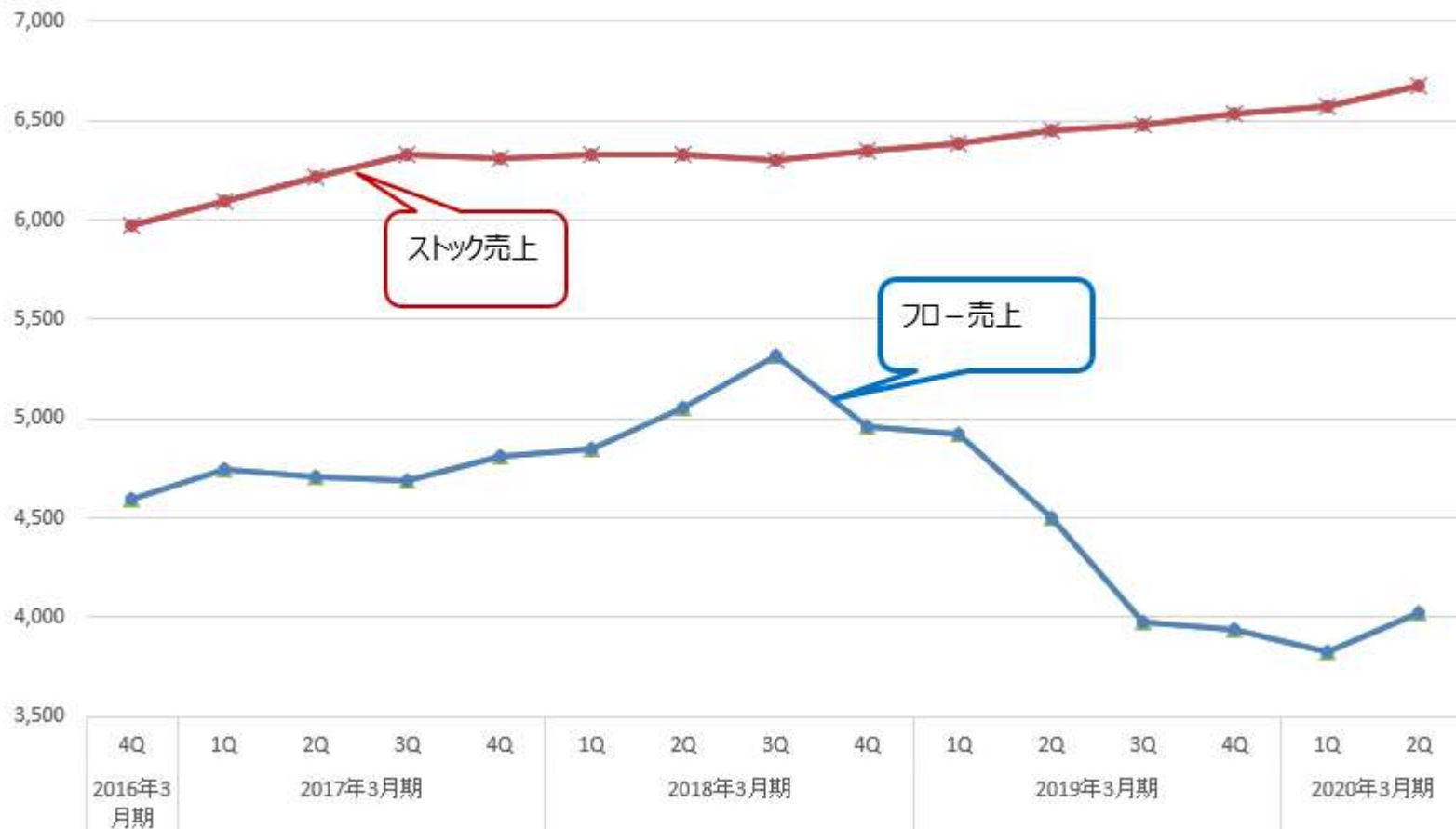


	2016年3月期				2017年3月期				2018年3月期				2019年3月期				2020年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
初期売上	768	1,365	1,055	1,409	920	1,319	1,037	1,536	953	1,532	1,297	1,179	919	1,102	776	1,144	801	1,304
課金売上	862	866	884	907	928	925	951	910	946	920	948	964	969	964	972	987	989	981
サプライ&保守売上	578	575	634	668	636	630	686	642	638	634	667	630	652	657	675	659	668	741

Ⅱ. vi. 調剤システム事業

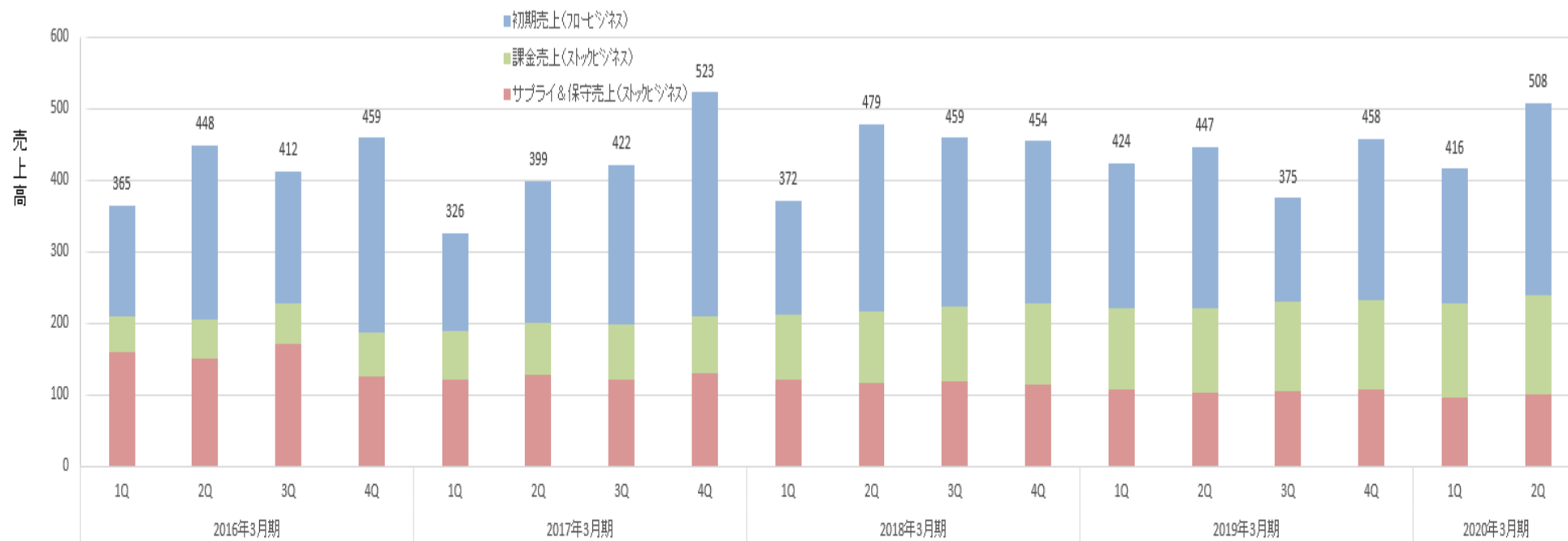
Moving Annual Total (単位：百万円)

調剤システム事業 Moving Annual Total(移動年次総計)



II . vii . 医科システム事業

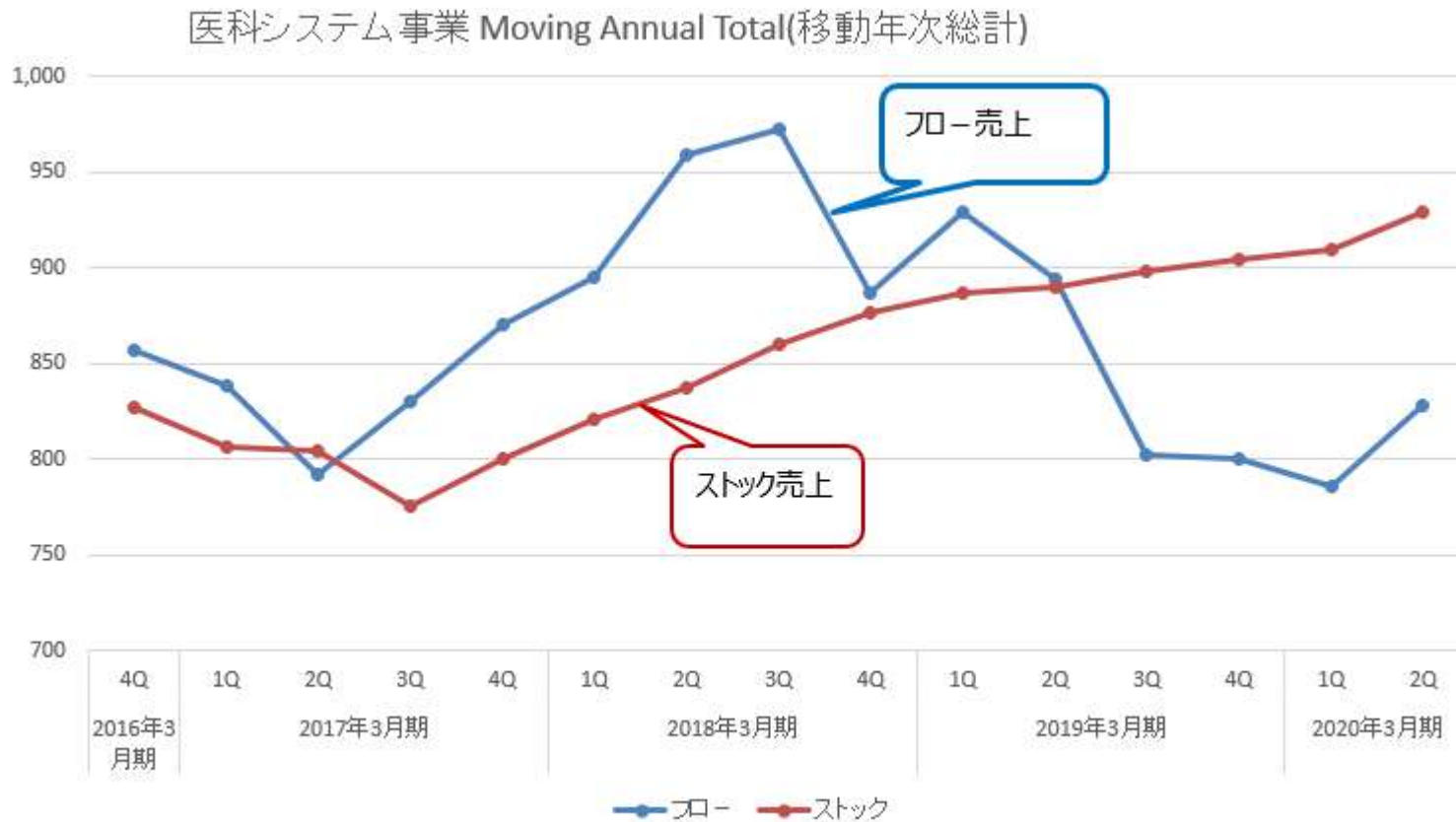
四半期別売上推移（単位：百万円）



	2016年3月期				2017年3月期				2018年3月期				2019年3月期				2020年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
初期売上	155	244	185	273	136	198	223	313	161	262	237	227	203	227	145	225	189	269
課金売上	51	53	56	61	70	73	78	80	91	101	104	113	115	118	126	127	132	139
サプライ&保守売上	159	151	171	125	120	128	121	130	120	116	118	114	106	102	104	106	95	100

Ⅱ . vii . 医科システム事業

Moving Annual Total (単位：百万円)



Ⅱ . viii. 今後の見通し(連結業績)

(百万円)

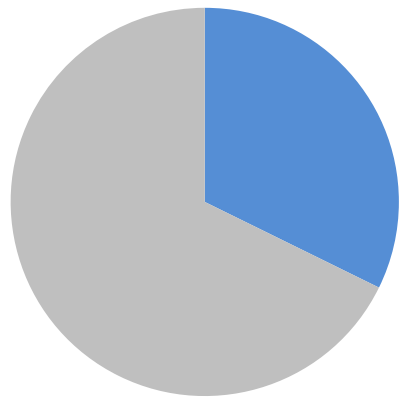
	2019年3月期 実績	2020年3月期 通期予想	前年実績比
売上高	13,133	13,174	0.3%
調剤システム事業	10,476	9,423	△10.1%
医科システム事業	1,704	2,202	29.2%
その他の事業	1,063	1,648	55.0%
調整額	△ 109	△ 99	△9.3%
営業利益	2,622	1,358	△48.2%
調剤システム事業	2,389	1,086	△54.5%
医科システム事業	239	258	7.9%
その他の事業	0	20	-
調整額	△ 7	△ 7	△2.8%
経常利益	3,248	1,980	△39.1%
当期純利益	1,971	1,307	△33.7%

※セグメント別の売上高及び営業利益又は営業損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

Ⅱ. ix. 当社シェアならびにお客様数

調剤システム

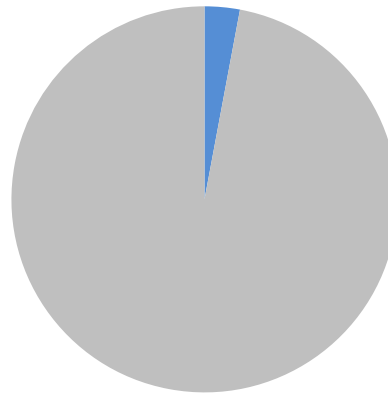
シェア 32.4%



当社お客様 : 16,195件
対象母数 : 50,000件
中期計画目標 : 25,000件

医科システム

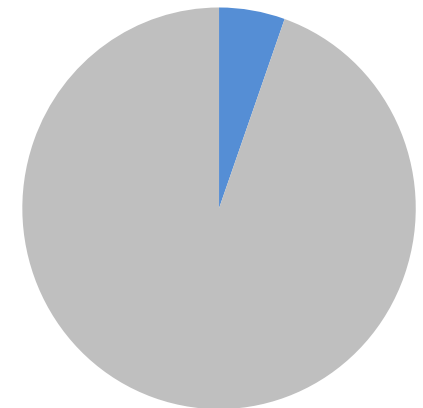
シェア 3.1%



当社お客様 : 2,756件
対象母数 : 90,000件
中期計画目標 : 10,000件

介護/福祉システム

シェア 5.4%



当社お客様 : 13,581件
対象母数 : 250,000件
中期計画目標 : 10,000件

※1 当社お客様件数は当社が販売しているシステム製品のお客様数になります。

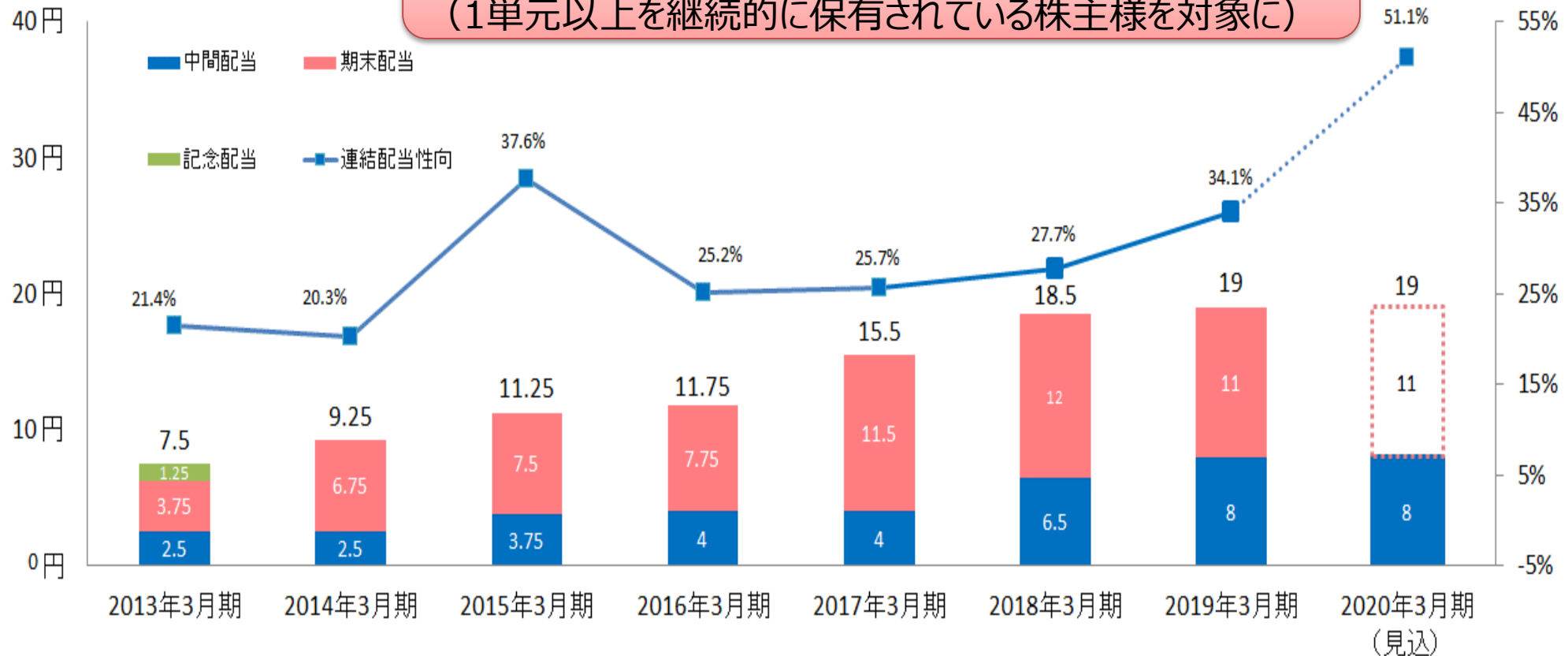
※2 調剤・医科の対象母数は、当社が製品販売先としての対象数を独自に設定したものであり、実際に登録されている薬局数、診療所数とは異なります。

※3 中期計画目標は、2018年5月に公表したものです。

(2019年9月30日現在)

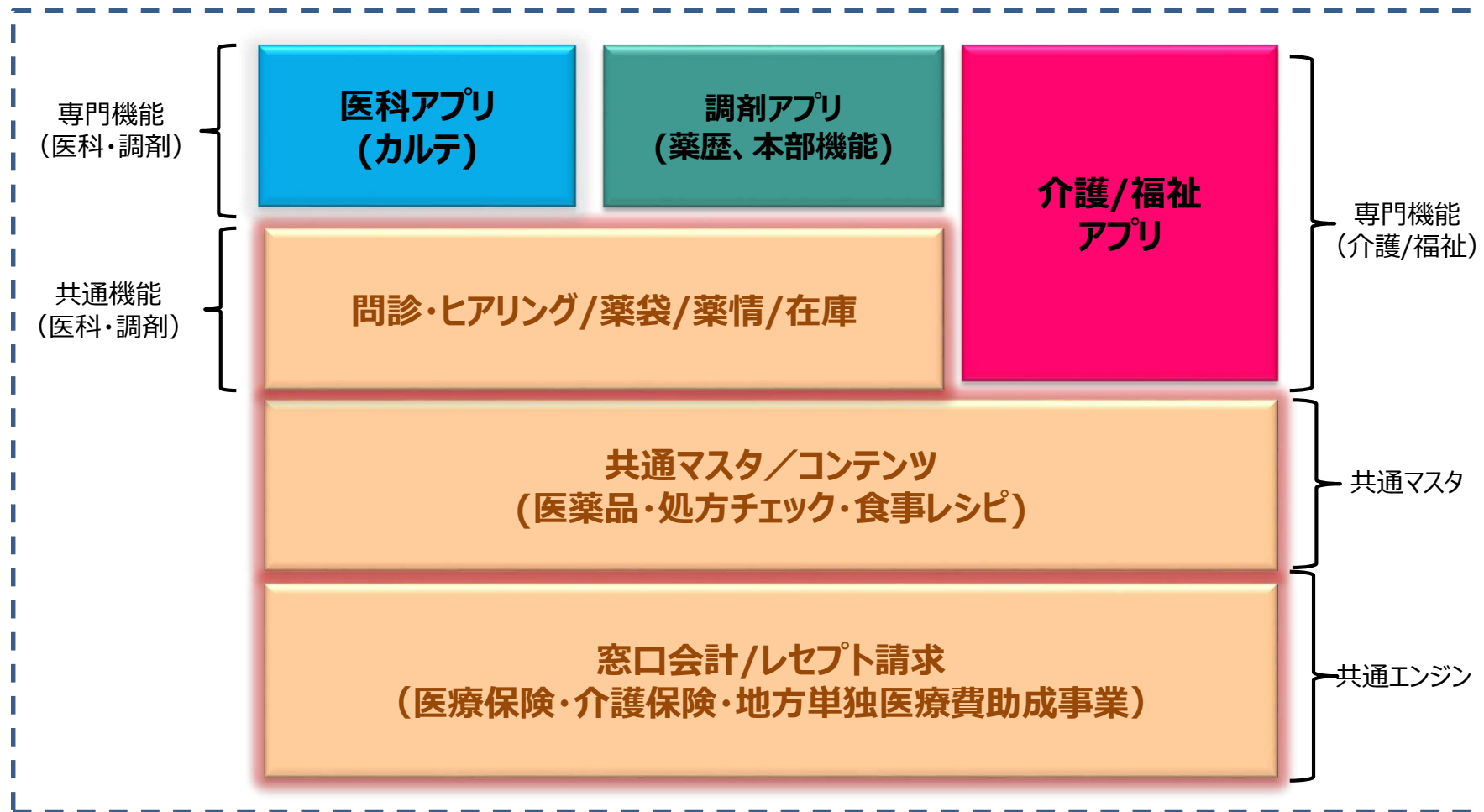
Ⅱ.x.株主還元

- ROEを重視しつつ、配当性向 30% を目標
- 株主優待制度の導入
(1単元以上を継続的に保有されている株主様を対象に)



※1 当社は、2016年4月1日付け及び2018年3月1日付けで、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。上記では2013年3月期の期首にそれぞれの株式分割が行われたものと仮定して表記しております。

添付資料



◇ お問い合わせ先

株式会社 E Mシステムズ
経営企画部 IR担当

〒532-0003
大阪市淀川区宮原1-6-1
新大阪ブリックビル

TEL : 06-6397-1998

FAX : 06-6397-1890



本説明資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績等は、様々な要因により、大きく異なる可能性があることをご了承ください。